

教科名	数学科	枝 種	中学校
-----	-----	-----	-----

科 目 の 配 当				
学年	科目名	必・選	単位	授業展開など、授業の形態
1年	数学	必	5	イングリッシュコース クラスごとに授業
	数学	必	4	アカデミックコース クラスごとに授業
2年	数学	必	5	イングリッシュコース クラスごとに授業
	数学	必	4	アカデミックコース クラスごとに授業
3年	数学	必	6	イングリッシュコース クラスごとに授業
	数学	必	5	アカデミックコース クラスごとに授業

科目名 (教科名)		イングリッシュコース 数学 (数学科)			
学年	1	単位数	5	必修・選択・展開	必修
目的	<p>*英語によるイメージング授業を取り入れ、コミュニケーションとしての英語力を身につける。            *週1回日本語による演習の時間を設け、日本語の問題にも対応できる力をつける。</p> <p>1. 数の概念についての理解を深め、文字式の働きとその表し方を理解し、方程式の解法につなげ、実際的な問題の解決に利用する。            2. 比例。反比例の見方や考え方を深めるとともに、数量の関係を表現し、考察する基礎を養う。            3. 平面、および空間図形についての理解を深め、作図や図形の計量についての能力を伸ばす。            4. 目的に応じてデータを収集し、その傾向を読みとる。</p>				
	学期	授業の項目		内容	
1 学期	第1章 正の数と負の数 ① 正の数と負の数 ② 加法と減法 ③ 乗法と除法 ④ いろいろな計算		<ul style="list-style-type: none"> <li>・符号のついた数</li> <li>・数の大小</li> <li>・正の数、負の数の加法・減法・乗法・除法</li> <li>・四則計算</li> <li>・素因数分解</li> <li>・正の数、負の数の利用</li> </ul>		
	第2章 文字と式 ① 文字と式 ② 文字式の計算 ③ 文字式の利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字式を使った式、文字式の表し方、数量の表し方</li> <li>・式の値</li> <li>・1次式の加法・減法・乗法・除法</li> <li>・文字式の利用</li> <li>・関係を表す式</li> </ul>		
2 学期	第3章 1次方程式 ① 1次方程式 ② 1次方程式の利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・方程式とその解</li> <li>・等式の性質</li> <li>・1次方程式の解き方</li> <li>・比例式</li> <li>・1次方程式の利用</li> </ul>		
	第4章 比例と反比例 ① 比例 ② 反比例 ③ 比例と反比例の利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・関数</li> <li>・比例</li> <li>・座標座</li> <li>・比例のグラフ</li> <li>・反比例</li> <li>・反比例のグラフ</li> <li>・比例と反比例の利用</li> </ul>		
3 学期	第5章 平面の図形 ① 平面図形 ② 作図		<ul style="list-style-type: none"> <li>・直線と角</li> <li>・図形の移動(平行、回転、対称)</li> <li>・作図の基本</li> </ul>		
	③ 円		<ul style="list-style-type: none"> <li>・円の弧、弦、接線</li> </ul>		
3 学期	第6章 空間図形 ① 空間図形 ② 立体の体積と表面積		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな立体とその見方</li> <li>・空間における平面と直線</li> <li>・立体の体積、展開図、表面積</li> <li>・おうぎ形の計量</li> </ul>		
	第7章 資料の整理とその活用 ① 資料の整理とその活用 ② 確率		<ul style="list-style-type: none"> <li>・度数の分布とヒストグラム</li> <li>・データの比較</li> <li>・累積度数</li> <li>・ことからの起こりやすさ</li> </ul>		
評価の 観点	【知識・技能】 (40%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各章において、基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけているかどうか。</li> <li>・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけているかどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験、小テスト、ワークシートの知識問題</li> </ul>		
	【思考・判断力・表現】 (30%)	各章における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えているかどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験、小テスト、ワークシートの思考問題</li> <li>・レポート</li> <li>・話し合い</li> </ul>		
	【主体的に学習に取り組む態度】 (30%)	数学的活動の楽しさや数学の良さに気づいて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしているか。問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート作り</li> <li>・授業態度・課題提出</li> <li>・課題の取り組み状況</li> </ul>		
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 : 定期試験における成績状況と提出物・小テスト・授業態度を加味し総合点を算出する。</li> <li>● 割合 : 定期試験 60 % 平常点 40 %</li> </ul>				
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教科書 : 「これからの数学1」(数研出版) 「これからの数学1探求ノート」(数研出版)</li> <li>● 問題集 : 「完全問題集1年」(正進社)</li> <li>● 副教材 : 「Gateway to the future Math 1」(啓林館) 「Qubena」(COMPASS Inc.)</li> </ul>				

科目名 (教科名)		アカデミックコース 数学 (数学科)			
学年	1	単位数	4	必修・選択・展開	必修
目的	1. 数の概念についての理解を深め、文字式の働きとその表し方を理解し、方程式の解法につなげ、実際的な問題の解決に利用する。 2. 比例、反比例の見方や考え方を深めるとともに、数量の関係を表現し、考察する基礎を養う。 3. 平面、および空間図形についての理解を深め、作図や図形の計量についての能力を伸ばす。 4. 目的に応じてデータを収集し、その傾向を読みとる。				
	学期	授業の項目		内容	
1 学期	第1章 正の数と負の数 ① 正の数と負の数 ② 加法と減法 ③ 乗法と除法 ④ いろいろな計算		・符号のついた数 ・数の大小 ・正の数、負の数の加法・減法・乗法・除法 ・四則計算 ・素因数分解 ・正の数、負の数の利用		
	第2章 文字と式 ① 文字と式 ② 文字式の計算 ③文字式の利用		・文字式を使った式、文字式の表し方、数量の表し方 ・式の値 ・1次式の加法・減法・乗法・除法 ・文字式の利用 ・関係を表す式		
2 学期	第3章 1次方程式 ① 1次方程式 ② 1次方程式の利用		・方程式とその解 ・等式の性質 ・1次方程式の解き方 ・比例式 ・1次方程式の利用		
	第4章 比例と反比例 ① 比例 ② 反比例 ③ 比例と反比例の利用		・関数 ・比例 ・座標座 ・比例のグラフ ・反比例 ・反比例のグラフ ・比例と反比例の利用		
	第5章 平面の図形 ① 平面図形 ② 作図		・直線と角 ・図形の移動(平行、回転、対称) ・作図の基本		
3 学期	③ 円		・円の弧、弦、接線		
	第6章 空間図形 ① 空間図形 ② 立体の体積と表面積		・いろいろな立体とその見方 ・空間における平面と直線 ・立体の体積、展開図、表面積 ・おうぎ形の計量		
評価の 観点	【知識・技能】 (40%)		・各章において、基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけているかどうか。 ・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけているかどうか。		・定期試験、小テストの知識問題
	【思考・判断力・表現】 (30%)		各章における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えているかどうか。		・定期試験、小テストの思考問題 ・レポート ・話し合い
	【主体的に学習に取り組む態度】 (30%)		数学的活動の楽しさや数学の良さに気づいて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしているか。問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしているか。		・小テスト・ノート作り ・授業態度・課題提出 ・課題の取り組み状況
評価の方法と割合	● 評価方法 : 定期試験における成績状況と提出物・小テスト・授業態度を加味し総合点を算出する。 ● 割合 : 定期試験 60 % 平常点 40 %				
教科書・副教材等	● 教科書 : 「これからの数学1」(数研出版) 「これからの数学1探求ノート」(数研出版) ● 問題集 : 「完全問題集1年」(正進社) ● 副教材 : 「Qubena」(COMPASS Inc.)				

科目名 (教科名)		イングリッシュコース 数学 ( 数学科 )			
学年	2	単位数	5	必修・選択・展開	必修
目的	*英語によるイマージョン授業を取り入れ、コミュニケーションとしての英語力を身につける。 *週1回日本語による演習の時間を設け、日本語の問題にも対応できる力をつける。 ※教科の指導目的はアカデミックコースに準ずる				
学期	授業の項目		内容		
1 学期	第1章 式の計算 1 式の計算 2 文字式の利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・単項式と多項式、次数、同類項の意味</li> <li>・文字式で表す ・等式変形</li> </ul>		
	第2章 連立方程式 1 連立方程式 2 連立方程式の利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連立方程式の解 ・連立方程式の解法</li> <li>・連立方程式の文章問題</li> </ul>		
2 学期	第3章 1次関数 1 1次関数 2 1次関数と方程式 3 1次関数の利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次関数の意味 ・変化の割合の意味 ・1次関数のグラフ</li> <li>・変域 ・1次関数の式を求めること</li> <li>・2元1次方程式のグラフとその意味 ・連立方程式とグラフ</li> <li>・1次関数を利用して、いろいろな問題について考える</li> </ul>		
	第4章 図形の性質と合同 1 平行線と角 2 三角形の合同 3 証明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対頂角、同位角、錯角 ・平行線になる条件 ・三角形の角</li> <li>・多角形の内角と外角 ・合同な図形の性質</li> <li>・三角形の合同条件とその意味および使い方</li> <li>・証明の意味、しくみ</li> </ul>		
	第5章 三角形と四角形 1 三角形 2 四角形		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定義の意味 ・二等辺三角形 ・直角三角形</li> <li>・平行四辺形 ・ひし形、長方形、正方形</li> <li>・面積が等しい三角形 ・面積が等しい図形に変形する</li> </ul>		
	第6章 データの活用 1 データの散らばり 2 データの傾向と調査		<ul style="list-style-type: none"> <li>・四分位数と四分位範囲 ・箱ひげ図</li> <li>・データの傾向と調査</li> </ul>		
	第7章 確率 1 確率		<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率の意味 ・同様に確からしいことの意味</li> <li>・簡単な場合の確率の求め方</li> <li>・樹形図や表、図などを使ったいろいろな確率の求め方</li> </ul>		
評価の 観点	【知識・技能】 (40%)	文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理、法則などを理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けている。	・定期試験、小テストの知識問題		
	【思考・判断力・表現】 (30%)	文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断する力、不確定な事象の起こりやすさについて考察する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験、小テストの思考問題</li> <li>・レポート</li> <li>・話し合い</li> </ul>		
	【主体的に学習に取り組む態度】 (30%)	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとするなど、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、よりよく問題解決しようとしたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り・ノート作り</li> <li>・授業態度・課題提出</li> </ul>		
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 : 定期試験における成績状況と提出物・小テスト・授業態度を加味し総合点を算出する。定期試験は英語の出題と日本語の出題がある。</li> <li>● 割合 : 定期試験 60% 平常点 40%</li> </ul>				
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教科書 : 「これからの数学2」 (数研出版) 「これからの数学2 探究ノート」 (数研出版)</li> <li>● 副教材 : 「Gateway to the future Math 2」 (啓林館) 「Qubena」 (株式会社COMPASS)</li> <li>「数学完全問題集」 (正進社)</li> </ul>				

科目名 (教科名)		アカデミックコース 数学 (数学科)			
学年	2	単位数	4	必修・選択・展開	必修
目的	1. 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばす。 2. 連立二元一次方程式について理解し、それを用いる能力を養う。 3. 1次関数について理解するとともに、1次関数の関係を見いだし表現し考察する能力を養う。 4. 図形の性質を利用して、定理を証明する能力を養う。 5. データの傾向を調べることや、物事のおこる場合や確率を考える力を身につける。				
	学期	授業の項目		内容	
1 学期	第1章 式の計算 1 式の計算 2 文字式の利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・単項式と多項式、次数、同類項の意味</li> <li>・文字式で表す ・等式変形</li> </ul>		
	第2章 連立方程式 1 連立方程式 2 連立方程式の利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連立方程式の解 ・連立方程式の解法</li> <li>・連立方程式の文章問題</li> </ul>		
2 学期	第3章 1次関数 1 1次関数 2 1次関数と方程式 3 1次関数の利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次関数の意味 ・変化の割合の意味 ・1次関数のグラフ</li> <li>・変域 ・1次関数の式を求めること</li> <li>・2元1次方程式のグラフとその意味 ・連立方程式とグラフ</li> <li>・1次関数を利用して、いろいろな問題について考える</li> </ul>		
	第4章 図形の性質と合同 1 平行線と角 2 三角形の合同 3 証明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対頂角、同位角、錯角 ・平行線になる条件 ・三角形の角</li> <li>・多角形の内角と外角 ・合同な図形の性質</li> <li>・三角形の合同条件とその意味および使い方</li> <li>・証明の意味、しくみ</li> </ul>		
3 学期	第5章 三角形と四角形 1 三角形 2 四角形		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定義の意味 ・二等辺三角形 ・直角三角形</li> <li>・平行四辺形 ・ひし形、長方形、正方形</li> <li>・面積が等しい三角形 ・面積が等しい図形に変形する</li> </ul>		
	第6章 データの活用 1 データの散らばり 2 データの傾向と調査		<ul style="list-style-type: none"> <li>・四分位数と四分位範囲 ・箱ひげ図</li> <li>・データの傾向と調査</li> </ul>		
7 章	第7章 確率 1 確率		<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率、同様に確からしいことの意味 ・簡単な確率の求め方</li> <li>・樹形図や表、図などを使ったいろいろな確率の求め方</li> </ul>		
	評価の 観点	【知識・技能】 (40%)	文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、1次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理、法則などを理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けている。	・定期試験、小テストの知識問題	
【思考・判断力・表現】 (30%)		文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断する力、不確定な事象の起こりやすさについて考察する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験、小テストの思考問題</li> <li>・レポート</li> <li>・話し合い</li> </ul>		
【主体的に学習に取り組む態度】 (30%)		数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとするなど、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、よりよく問題解決しようとしたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り・ノート作り</li> <li>・授業態度・課題提出</li> </ul>		
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価方法 : 定期試験における成績状況と提出物・小テスト・授業態度を加味し総合点を算出する。</li> <li>● 割合 : 定期試験 70% 平常点 30%</li> </ul>				
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教科書 : 「これからの数学2」(数研出版) 「これからの数学2 探究ノート」(数研出版)</li> <li>● 副教材 : 「数学完全問題集」(正進社) 「Qubena」(株式会社COMPASS)</li> </ul>				

科目名 (教科名)		イングリッシュコース 数学 ( 数学科 )			
学年	3	単位数	6	必修・選択・展開	必修
目的	*英語によるイマージョン授業を取り入れ、コミュニケーションとしての英語力を身につける。 *週1回日本語による演習の時間を設け、日本語の問題にも対応できる力をつける。 ※教科の指導目的はアカデミックコースに準ずる				
学期	授業の項目		内容		
1学期	第1章 式の計算 1. 式の計算 ① 多項式の計算 ② 因数分解 ③ 式の計算の利用 ④ 素因数分解		・多項式と単項式との乗法、除法 ・多項式の乗法 ・展開の公式 ・いろいろな式の展開 ・因数分解 ・いろいろな式の因数分解 ・式の計算の利用 ・素因数分解		
	第2章 平方根 ① 平方根 ② 平方根をふくむ式の計算		・平方根 ・平方根の値 ・根号を含む式の乗法と除法 ・根号を含む式の加法と減法 ・いろいろな計算		
	第3章 2次方程式 ① 2次方程式 ② 2次方程式の利用		・2次方程式とその解 ・因数分解による解き方 ・平方根の考えを使った解き方 ・2次方程式の解の公式 ・解が与えられた2次方程式・数の問題と2次方程式・図形の問題と2次方程式		
	第4章 関数 $y = a x^2$ ① 関数 $y = a x^2$ ② 関数 $y = a x^2$ の利用		・2乗に比例する関数 ・関数 $y = a x^2$ のグラフ ・関数 $y = a x^2$ の値の変化 ・関数 $y = a x^2$ の利用 ・いろいろな関数		
2学期	第5章 相似 ① 相似な図形 ② 平行線と線分の比 ③ 面積の比、体積の比		・相似な図形の性質 ・三角形の相似条件 ・縮図の利用 ・三角形と比 ・中点連結定理 ・平行線と線分の比 ・三角形の角の2等分線と比 ・三角形の面積と線分の比 ・相似な図形の面積の比 ・相似な立体の表面積の比、体積の比		
	第6章 円 ① 円		・円周角の定理 ・円周角の定理の逆 ・円の性質利用 ・相似な三角形と円・円に内接する四角形 (高校数学Aの内容) ・円の接線と弦のつくる角・方べきの定理 (高校数学Aの内容)		
	第7章 三平方の定理 ① 三平方の定理 ② 三平方の定理の利用		・三平方の定理とその逆 ・直角三角形の辺の長さ ・平面図形への利用 ・空間図形への利用		
3学期	・中学校3年間の復習 第8章 標本調査 ① 母集団と標本		学力診断テストに向けて ・調査のしかた ・標本平均 ・標本調査の活用		
評価の観点	【知識・技能】 (40%)	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	・定期試験の知識問題 ・計算テスト		
	【思考・判断力・表現】 (30%)	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	・定期試験の思考問題 ・レポート・プレゼン・発表 ・グループワーク		
	【主体的に学習に取り組む態度】 (30%)	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。	・振り返り ・小テスト・ノート作り ・授業態度・課題提出		
評価の方法と割合	● 評価方法 : 定期試験における成績状況と提出物・小テスト・授業態度を加味し総合点を算出する。 定期試験は英語の出題と日本語の出題がある。 ● 割合 : 定期試験 60 % 平常点 30 % 学力診断テスト 10 %				
教科書・副教材等	● 教科書 : 「これからの数学3」 (数研出版) 「これからの数学3 探究ノート」 (数研出版) ● 副教材 : 「Gateway to the future Math 3」 (啓林館) 「Qubena」 (株式会社COMPASS) 「数学完全問題集」 (正進社)				

科目名 (教科名)		アカデミックコース 数学 ( 数学科 )			
学年	3	単位数	5	必修・選択・展開	必修
目的	1. 数学についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 2. 数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。 3. 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。				
	学期	授業の項目		内容	
1 学期	第1章 式の計算 1. 式の計算 ① 多項式の計算 ② 因数分解 ③ 式の計算の利用 ④ 素因数分解		・多項式と単項式との乗法、除法 ・多項式の乗法 ・展開の公式 ・いろいろな式の展開 ・因数分解 ・いろいろな式の因数分解 ・式の計算の利用 ・素因数分解		
	第2章 平方根 ① 平方根 ② 平方根をふくむ式の計算		・平方根 ・平方根の値 ・根号を含む式の乗法と除法 ・根号を含む式の加法と減法・いろいろな計算		
	第3章 2次方程式 ① 2次方程式 ② 2次方程式の利用		・2次方程式とその解 ・因数分解による解き方 ・平方根の考えを使った解き方 ・2次方程式の解の公式 ・解が与えられた2次方程式・数の問題と2次方程式・図形の問題と2次方程式		
	第4章 関数 $y = a x^2$ ① 関数 $y = a x^2$ ② 関数 $y = a x^2$ の利用		・2乗に比例する関数 ・関数 $y = a x^2$ のグラフ ・関数 $y = a x^2$ の値の変化 ・関数 $y = a x^2$ の利用 ・いろいろな関数		
2 学期	第5章 相似 ① 相似な図形 ② 平行線と線分の比 ③ 面積の比、体積の比		・相似な図形の性質 ・三角形の相似条件 ・縮図の利用 ・三角形と比 ・中点連結定理 ・平行線と線分の比 ・三角形の角の2等分線と比 ・三角形の面積と線分の比 ・相似な図形の内積の比 ・相似な立体の表面積の比、体積の比		
	第6章 円 ① 円		・円周角の定理 ・円周角の定理の逆 ・円の性質利用 ・相似な三角形と円・円に内接する四角形 (高校数学Aの内容) ・円の接線と弦のつくる角・方べきの定理 (高校数学Aの内容)		
	第7章 三平方の定理 ① 三平方の定理 ② 三平方の定理の利用		・三平方の定理とその逆 ・直角三角形の辺の長さ ・平面図形への利用 ・空間図形への利用		
3 学期	・中学校3年間の復習		学力診断テストに向けて		
	第8章 標本調査 ① 母集団と標本		・調査のしかた ・標本平均 ・標本調査の活用		
評価の 観点	【知識・技能】	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	・定期試験の知識問題 ・計算テスト		
	【思考・判断力・表現】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	・定期試験の思考問題 ・レポート・プレゼン・発表 ・グループワーク		
	【主体的に学習に取り組む態度】	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。	・振り返り ・小テスト・ノート作り ・授業態度・課題提出		
評価の方法と割合	● 評価方法 : 定期試験における成績状況と提出物・小テスト・授業態度を加味し総合点を算出する。 ● 割合 : 定期試験 60 % 平常点 30 % 学力診断テスト 10 %				
教科書・副教材等	● 教科書 : 「これからの数学3」(数研出版) 「これからの数学3 探究ノート」(数研出版) ● 副教材 : 「数学完全問題集」(正進社) 「Qubena」(株式会社COMPASS)				

